

令和4年度事業報告

I. 総括

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

第77回国民体育大会（栃木国体）に向けて、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う種々の対応が求められる中、強化練習・遠征等の競技力向上対策に取り組んだ。この結果、第43回北信越国民体育大会では、本国体出場権を63種目獲得することができた。本国体では、24競技で入賞し、総合得点1,114点を獲得（参加点400点含）、天皇杯18位および皇后杯18位で目標としていた10位台を達成できた。競技団体代表者との意見交換も行いながら、県選手強化対策委員会、県スポーツ協会、競技団体が一体となって、目標達成に向けて競技力向上対策を推進した。また、特別国民体育大会冬季大会では、スキー競技で2種目入賞し、冬季総合順位28位と健闘し、本大会へ勢いがついた。

県民スポーツ祭では、「1県民1スポーツ」の推進や、各競技の福井国体開催地における開催を推奨し、レガシーの継承に努めた。また、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、競技会を開催できるよう努めた。

日本スポーツマスターズ2023、ふくい桜マラソン2024の開催に向けて、福井県との連携・協力を進めた。

II. 事業内容

1. 競技力向上事業

(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力向上を図るため、各事業を積極的に取り組んだ。

事業名	内容
国体強化対策事業	競技団体に対し、当年国体に向けた強化費を補助した。 <u>41競技</u>
プレ強化事業	競技団体に対し、次年度国体に向けた強化費を補助した。 <u>26競技</u>
アスリートのU・Iターン推進事業	県内の強豪高校の選手に対し、下宿費用を補助した。 <u>76名（14競技）</u>
ふくいナショナルアスリート マルチサポート事業	スポンジオブふくい等で県内就職した日本代表級の選手に対し、競技活動費を補助した。 <u>8名（5競技）</u>
トップ指導者育成事業	競技団体で今後の中核的指導者になり得る若手指導者に対し、資質向上研修を実施した。 ・令和4年11月5日 福井県営体育館 18名 ・令和4年12月4日 福井県営体育館 18名 ・令和5年1月14日 福井県営体育館 19名 ・令和5年2月11日、12日 東京都内 21名 ・令和5年2月25日 福井県営体育館 18名

未来のアスリート発掘・育成事業	<p>①ふくいジュニアアスリートアカデミー選考会・合同競技体験会の実施</p> <p>子どもたちの才能や可能性を発見し、有望選手を発掘した。</p> <p>【選考会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月23日 福井県営体育館 54名 ・令和4年12月10日 福井県営体育館 39名 <p>【体験会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月10日 福井県営体育館 275名 <p>②ふくいジュニアアスリートアカデミーの実施</p> <p>トップアスリートを目指す子どもたちに対して、年間を通じて、スポーツに関する身体的・知的能力等を高める育成プログラムを（6年生12回、5年生14回）提供した。</p>
ジュニア育成強化事業	<p>競技団体に対し、ジュニアの人材発掘および継続育成費を補助した。<u>37競技</u></p>

(2) 積善会スポーツ振興事業

積善会助成金を活用し、少年選手のスポーツ振興に取り組んだ。

事業名	内容
ジュニアアスリートサポート事業	国際大会等に日本代表として出場するジュニア選手に対し、激励金を交付した。 <u>14名(7競技)</u>

(3) 関係会議等開催事業

スポーツ関係団体との連携・協力を図るため、諸会議を開催した。

会議名	内容
競技力向上対策委員会	<p>次年度国体に向けた競技力向上対策を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月23日 福井県営陸上競技場 ・令和4年11月10日 福井県営体育館
国体入賞対策会議（県と共催）	<p>今年度国体に向けた競技力向上対策を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月29日 福井県営体育館
国体結果検討会（県と共催）	<p>今年度国体における本県選手団の結果の総括および次年度国体に向けた強化対策を協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月30日 フェニックス・プラザ
加盟団体理事長会議	<p>競技力向上対策の具体的方策を情報提供した。 （併せてコンプライアンス研修会を実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月17日 福井県営体育館

2. 国体等派遣事業

(1) 国体派遣事業

国体に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第77回国民体育大会	令和4年10月1日～11日 ＜会期前実施＞ 水泳等：9月10日～20日	栃木県	501名
特別国民体育大会 冬季大会	＜スケート・アイスホッケー競技会＞ 令和5年1月28日～2月5日 ＜スキー競技会＞ 2月17日～20日	青森県 岩手県	スケート 2名 スキー 31名

(2) 北信越国体派遣事業

北信越国体等に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第43回北信越国民体育大会	令和4年8月19日～21日 ＜会期前実施＞ カヌー等：5月4日～	福井県	710名
特別国民体育大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和4年12月9～11日	愛知県	21名

3. スポーツ医科学研究推進事業

(1) 医科学活用推進事業

成年・少年強化指定選手を対象に、スポーツ医科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートの実践を通して競技力向上を行った。

事業名	内容
スポーツ医科学に関する問診調査 およびメディカルチェック	国体候補選手（1,560名）に対し、アンケートを行った。 3名が個別受診（うち2名は女性アスリート支援）し、精密な診察を受けた。
スポーツ医科学専門家の国体帯同 およびチームサポート	2競技3種別にAPTを帯同したほか、別途本部役員としても帯同。メンタルトレーナーのチームサポートについては8競技に行った。
福井県スポーツ医科学研究大会	令和4年11月6日 福井県自治会館にて開催

(2) 研修会等開催事業

国体選手を中心にドーピング防止教育や啓発を行った。また、競技団体や学校に心理、栄養、アンチ・ドーピング、女性アスリートサポートの出前研修会を行い、選手や指導者の意識高揚と知識の蓄積を行った。

研修会名	回数	参加者数等
アンチ・ドーピング研修会（リモート）	3回	160名
(各種)出前研修会 ・メンタルトレーニング	130回	約160名

(3) 未来のアスリート発掘・育成事業 への医科学サポート

ふくいジュニアアスリートアカデミー選考会及びプログラムに各部会の専門家を派遣し、選考に係る測定結果の科学的分析や、アカデミー生、保護者への講義を行った。

部 会	サポート項目	サポート内容
スポーツ科学部会	選考会測定協力 結果分析	専門機材を使った科学的な計測を行い、選考対象者（93名）の測定結果を多角的に比較分析し、評価の一翼を担った。 ふくいジュニアアスリートアカデミー受講生として 32 名を選出
スポーツ心理部会	プログラム講師	アカデミー生・保護者に対して、トレーニング科学、スポーツメンタルトレーニング、スポーツ栄養学の講義や実技指導を行った。
スポーツ栄養部会		ジュニア期に必要な知識の伝達や実践を通して、意識の高揚を図り、アスリートとしての健全な成長をサポートした。 実技トレーニング：7回 メンタルトレーニング：6回（保護者向け：3回） スポーツ栄養学：4回（保護者向け：1回）

4. 競技会開催事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業

県民の様々なスポーツニーズに応え「1 県民 1 スポーツ」推進のため、68 競技・種目による「県民スポーツ祭」を開催した。また、令和 2 年度より福井国体・障スポの融合を継承し「障がい者の部」を新設した。コロナ禍や豪雨災害などの影響を受けたものの、参加者は以前の規模に戻りつつある。

区 分	開催期日	開催地	参加者数
68 競技・種目 (内、56 競技・種目を実施)	令和 4 年 4 月～令和 5 年 2 月	県下一円	29,764 名
総合開会式 みんなでスポーツフェスタ	令和 4 年 7 月 9 日	福井県営体育館	431 名
はびりゅうフェスタ	令和 4 年 10 月 15 日～16 日	サンドーム福井	6,048 名

(2) 第 43 回北信越国民体育大会開催事業

県下一円において 31 競技による「北信越国民体育大会」を 5 年ぶりに開催した。

区 分	会 期	開 催 地
31 競技	令和 4 年 8 月 19 日～21 日 <会期前実施> カヌー等：5 月 4 日～	県下一円
総合開会式	中止	—

(3) 日本スポーツマスターズ 2023 開催事業

県民の生涯スポーツのより一層の推進を目的に、令和 5 年度に本県で開催するため、県と協働して準備を進めた。

視察調査（県委託事業）	競技団体が本県開催の準備を行うため、日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会を視察した。13 競技
-------------	--

5. 関係団体育成事業

(1) スポーツ振興事業

本会正加盟の市町スポーツ協会等や競技団体等が行うスポーツ普及振興事業に助成し、「1 県民 1 スポーツ」を推進した。(64 団体)

(2) スポーツ指導者協議会振興事業

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会の活動を推進した。(会員 2,531 名)

6. スポーツ指導者育成事業

(1) スポーツ指導者養成講習会事業

県内スポーツ指導者が適切且つ効果的な指導方法を学ぶため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得講習会を開催した。

資格種類	講習会名	受講者
競技別指導者資格	コーチ 1 養成講習会（バドミントン）	9 名

(2) スポーツ指導者研修会事業

県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会の協力を得て研修会を実施した。

研修会名	開催期日	開催場所	参加者数
越前市スポーツ指導者研修会	中止	—	—
福井県スポーツ指導者研修会	令和 5 年 2 月 23 日	福井県生活学習館	150 名

7. スポーツ少年団育成事業

3 年ぶりに福井県スポーツ少年大会を開催し、県内全域から団員および関係者総勢 1,472 名が参加した。指導者養成事業は、県内各地で 4 コース開催し、計 141 名が受講した。指導者の資質向上ならびに母集団の組織整備等については、感染状況に応じながら実施を推進した。

令和 4 年度の福井県スポーツ少年団の登録は、団数 429 団、団員数 7,570 名、指導者数 1,269 名、役員・スタッフ 786 名となった。

事業名	内容
第 57 回福井県スポーツ少年大会	<p>県下のスポーツ少年団員が一堂に集まり、スポーツ活動を通して団員相互の交流と友情を深め、スポーツ少年団員としての誇りと自覚を高めた。</p> <p>・令和 4 年 9 月 3 日 高浜町、おおい町、小浜市 団員：842 名、引率者：630 名 合計 1,472 名</p>
指導者および育成母集団研修会	<p>指導者および団員保護者に対して研修会を開催した。</p> <p>・令和 4 年 9 月 18 日 ハートピア春江 44 名</p>
スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	<p>スポーツ少年団向けの指導者資格養成講習会を行った。</p> <p>・令和 4 年 10 月 15 日 結とびあ 23 名 ・令和 4 年 11 月 19 日 おおい町総合市民センター 36 名 ・令和 4 年 12 月 10 日 越前町生涯学習センター 18 名 ・令和 4 年 12 月 18 日 春江東コミュニティーセンター 64 名</p>
アクティブ チャイルド プログラム（JSPO-ACP）都道府県普及推進研修会	<p>アクティブ チャイルド プログラム（JSPO-ACP）を周知、普及するため、指導者や保護者、教育関係者に対して研修会を開催した。</p> <p>・令和 4 年 10 月 8 日 エキサイト広場体育施設 中止 ・令和 5 年 1 月 21 日 リブラ若狭・勤労者体育館 12 名 ・令和 5 年 2 月 4 日 鯖江市スポーツ交流館 21 名</p>
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	<p>北信越ブロックスポーツ少年団のリーダーが本県に会し、相互研修を通じて、各県リーダー会の充実および連携強化を図るとともに、将来の指導者としての資質向上を図った。</p> <p>・令和 4 年 10 月 29 日～30 日 福井市少年自然の家 35 名（福井県 12 名）</p>
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	<p>北信越ブロックスポーツ少年団の指導者や役員が本県に会し、相互の連携と指導者としての資質及び指導力の向上を図った。</p> <p>・令和 4 年 11 月 26 日～27 日 ホテルフジタ福井 38 名（福井県 17 名）</p>

8. 総合型地域スポーツクラブ育成事業

令和 4 年度より、中間支援組織として総合型クラブの活動を推進した。

事業名	内容
育成支援研修会	<p>総合型クラブ運営スタッフや市町行政担当者、市町スポーツ協会などの参加があり、石川県の総合型クラブ 2 団体の活動を視察・事例発表を聴講した。</p> <p>・令和 4 年 11 月 26 日 16 名</p>
市町連携支援研修会	<p>総合型クラブ運営スタッフおよび市町行政担当者に対し、連携事業の事例を紹介し、今後の取組の参考にしてもらった。</p> <p>・令和 4 年 9 月 28 日 福井県営体育館 28 名</p>

登録認証支援事業	総合型クラブが登録・認証できるよう実地審査や登録審査委員会を実施した。(予備登録クラブ：25クラブ)
機能強化支援事業	総合型クラブに対し、認知度向上などに向けたイベントの事業費を補助した。 <u>11クラブ</u>
クラブアドバイザー配置事業	クラブアドバイザーを配置し、総合型クラブの創設についてや活動・運営がスムーズに行えるよう巡回指導などで支援した。
地域のスポーツ環境基盤強化事業	地域のスポーツ環境の基盤を強化するため、関係者による会議や、現場に携わる方同士の意見交換会等を実施し、地域課題解決に取り組んだ。 <u>会議3回、意見交換会2回</u>

9. 広報・情報提供事業

(1) 広報普及活動事業

国際大会や国体等における本県選手の活躍、事業活動内容、各種表彰等を広報するため、「スポ協ニュース」を発刊した。(3回 4,700部)

(2) スポーツ情報公開事業

ホームページ等を活用して、当協会に関する情報を積極的に公表するとともに、当協会の諸事業活動を周知した。

10. 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

表彰名	対象者	実施期日	受賞者数
スポーツ功労者賞 スポーツ功労団体賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人・団体	令和5年1月	22名
優秀選手賞	当年内に、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	令和5年1月	208名
優秀指導者賞	前項の優秀選手を育成した指導者	令和5年1月	6名
国民体育大会賞	当年国体で、天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	令和4年11月	222名 8チーム 24団体
特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した者	令和5年1月	3名 2団体

11. その他

(1) 創立75周年記念事業

昭和21年度に福井県体育協会として創立し、令和3年に75周年を迎えたことから、「公益財団法人」として移行後10周年と併せて、記念事業を実施した。

事業内容	【祝賀会の開催】 令和4年11月22日 フェニックス・プラザ 240名
	【記念誌の発刊】 創立75周年記念福井県スポーツ史 400部
	【記念品の作製】 オリジナルタンブラー等 500個
	【冠大会の開催】
	【ウェブページの開設】

(2) 全国大会、ブロック大会および県大会の共催・後援

本会加盟団体等の主催大会を必要に応じて、名義共催・後援した。(計77回)

(3) 安全管理の強化の取り組み

「国民体育大会参加者傷害補償制度」「加盟団体の賠償責任保険」「スポーツ安全保険」への加入を促進した。

(4) スポーツ安全協会福井県支部事務局業務

令和4年度より、スポーツ安全協会福井県支部業務を本協会を受託している。スポーツをされる方々が、安心して活動できるよう、普及広報に努めた。

【令和4年度本県加入実績】

対象活動	加入区分	加入者数
中学生以下のスポーツ・文化活動	A1・AW	29,977名
高校生以上の文化活動等	A2	2,874名
65歳以上のスポーツ活動	B・BW	4,347名
高校生以上のスポーツ活動	C・CW	13,798名
危険度の高いスポーツ活動	D	0名